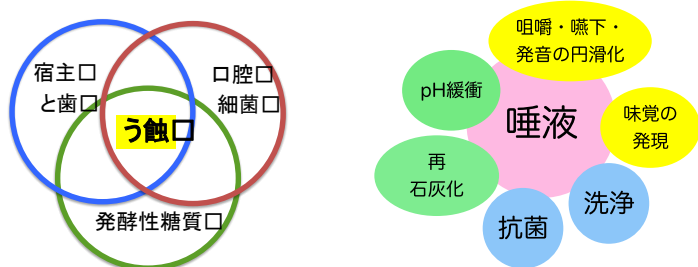
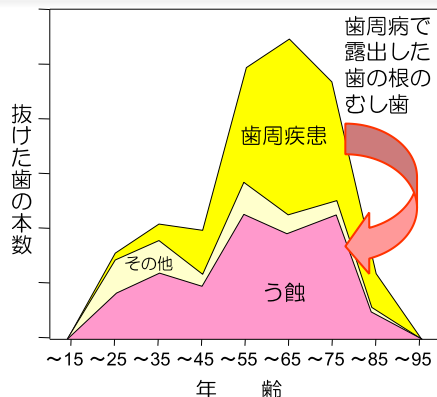


NUTRITION SUPPORT TEAM NUTRITION SUPPORT TEAM NUTRITION SUPPORT TEAM

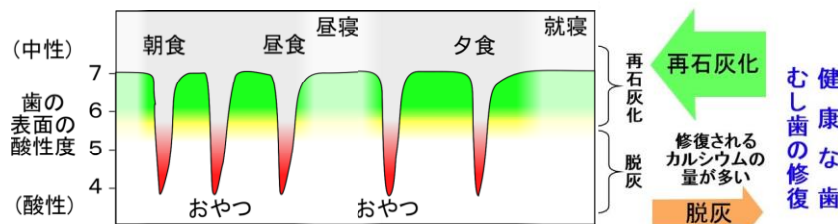
今回のテーマは「予防歯科」です

歯の抜ける主な原因はう蝕と歯周病です。歯周病が進行すると歯肉が退縮し露出した歯根面にう蝕が発生しやすくなります。う蝕は多要因疾患ですが、歯の表面の細菌が砂糖に代表される発酵性糖質から酸を産生し、その酸が歯を溶かす現象です。歯質を丈夫にするためには**フッ化物配合歯磨剤**の使用が、口腔細菌には**歯磨き**が、発酵性糖質には**摂取のタイミング**が大切です。



唾液には酸で脱灰した歯質にカルシウムイオンなどを再沈着させる再石灰化作用の他、洗浄抗菌、味覚発現、粘膜保護、咀嚼・嚥下・発音の円滑化作用などがあります。入眠中はその分泌が少なくなるため、就寝前にはフッ化物配合歯磨剤でお口をきれいにしておくことがう蝕の予防になります。

文責: 予防歯科
丹田 奈緒子



看護師によるICUでの口腔ケアの実際

重症な患者さんや、消化管の安静が必要な患者さんは長期間絶食となります。口から食事を摂取しないと、唾液量の低下や舌苔の付着などにより口腔内の清潔が保たれません。そのため、挿管中であっても口腔ケアはかかさず行う必要があります。口腔内で繁殖した菌を誤嚥して肺炎をきたす患者さんは多くそれにより更に絶食期間が延び、個人のQOLのみならず、全身状態も悪化してしまいます。

予防のための口腔ケアは、全ての患者さんにとって必要不可欠であると言えるでしょう。自分で磨くことができる患者さんにも歯磨きの必要性を説明して、行ってもらいましょう。



文責 看護師
佐々木 美奈

